

授業科目名	バンクーバー発音の鬼が教えるネイティブ発音の極意	科目コード	HH46	配当年次	1	単位	2
担当教員	リチャード 川口						
科目の概要							
<p>「なぜ日本人の英語の発音はネイティブに通じないのか？」と疑問に思ったことはないだろうか。英語には、日本語にはない英語特有の「発音の特徴」がある。ネイティブが英語を話すときに自然に行っている「発音の仕組み」を押さえれば、必ず一発で通じるネイティブ級の発音ができるようになる。本科目では、日本語と英語の両方の発音に精通した、日系カナダ人である講師が、日本語にはない母音や子音の出し方、さらには単語や文章を発音するときのルールやコツを理論的に解説していく。そして、英語発音のテクニックをマスターして、実際に「ネイティブ発音」ができるようになることを目指す。</p>							
科目の到達目標							
<p>①日本語にはない、英語特有の発音の仕組みやコツを理解することができる。 ②英語発音のコツをマスターして、「ネイティブ発音」ができるようになる。</p>							
テキスト	『バンクーバー 発音の鬼が日本人のためにまとめた ネイティブ発音のコツ33』リチャード 川口, 明日香出版社, 2013年						
テキストの読み方							
<p>①テキストは、2013年に発行され、英語発音学習に革命を起こした発音の語学書。 ②堅苦しい専門用語や、文章体の書き方を極力避け、直接読者に語りかけるように書かれているので、まるで実際にレクチャーを受けているような感覚で読み進めていける。 ③とっつきにくい「ネイティブ英語発音」を33のコツに分け、それぞれ順を追って具体的に説明しているので、一つ一つの要素を確実に身につけていくことができる。 ④付属のCDでは著者本人が、ライブの音声でもデモンストレーションしながら解説。典型的な日本人の発音と、テキストのポイントを押さえた上での発音を、ダブルで収録しているので、目指すべき発音がつかみやすい。CDを聴きながら著者の手引きにそって実際に発音しながら読み進める。</p>							
単位修得の方法							
<p>①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。 または、 ②iNet スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。</p>							